

平成 27 年度 第 1 回定例理事会抄録

日時：平成 27 年 4 月 18 日（土）13：00～16：08

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水順、荻原（副会長）、宇田、苅山、小林正、陣内、土井、三澤、山本（常務理事）、大庭、小川、小林毅、高島、谷、藤井（理事）、古川、長尾、早川（監事）

理事会の求めによる出席：小賀野（企画調整委員長）、伊藤（選挙管理委員長）、富岡（WFOT 代表）、岡本（財務担当）、清水兼（都道府県作業療法士会連絡協議会会長）

I 報告事項

1. 第 16 回 WFOT 大会決算について（山根 WFOT 大会実行委員長）予算額 3 億 940 万 2,250 円に対し決算額 3 億 1,490 万 7,980 円。最終的な残金約 420 万円を WFOT との覚書により双方で折半とした。
2. 役員候補者選挙の結果について（伊藤選挙管理委員長）候補者選挙の結果が報告された。費用対効果の観点から候補者選挙実施の可否について検討していく。
3. 平成 27 年度会員管理システム新規接続応募士会について（荻原事務局長）新規募集の結果、4 士会が新たに接続し、47 都道府県中 42 都道府県士会が接続した。
4. 書籍『事例で学ぶ生活行為向上マネジメント』進捗状況について（大庭理事）生活行為向上マネジメントの内容について日本作業療法士協会が執筆・編集をした『事例で学ぶ生活行為向上マネジメント』が書籍として作成され、最終校正を残す段階に来ている。
5. 生活行為向上マネジメント推進プロジェクト新たなランドデザインについて（土井 MTDLP 担当理事）第 2 期事業計画（2015 年度～2017 年度）を作成した。
6. 地域包括ケアステーション実証開発プロジェクトに提出した事業計画について（中村会長）プロジェクトに日本作業療法士協会がエントリーした事業内容が示された。パイロットステーションは倉敷市内の事業所に置かれる。
7. 平成 30 年度介護報酬改定に向けた訪問リハビリステーション制度化の方向性（案）について（土井訪問リハ振興委員会担当理事）その考え方を単独型から自立型地域包括ケアステーションへシフトしていく内容の案が示された。今後、リハビリテーション専門職団体協議会で議論される。
8. 全国リハビリテーション医療関連団体協議会への対応について（中村会長）3 月 30 日に会長会議が開催され、新体制が発足し、規約も改定された。

9. 渉外活動報告 書面報告

10. WFOT 事務局長メモ（富岡 WFOT 代表）WFOT 事務局長より WFOT の活動内容が WFOT 代表に送付されてきた。

11. 日本作業療法士連盟報告（谷連盟担当理事）①連盟主催による研修会の参加者は連盟会員 21 名、作業療法士協会員 7 名計 28 名であった。②次年度連盟定期総会の開催日が平成 28 年 2 月 21 日と決定した。

12. 訪問リハビリテーション振興財団報告（谷訪問リハ振興財団担当理事）①振興財団第 3 回理事会が 3 月 26 日に開催された。②平成 27 年度第 6 回訪問リハ・地域リーダー会議が 5 月 21・22 日に行われ、翌 23 日には訪問リハビリテーションフォーラムが開催される。

13. その他

清水副会長：日本公衆衛生協会から委託を受けて行った「地域保健に関わる理学療法士・作業療法士の人材育成に関する調査研究」の報告書が完成した。今年度も引き続き、事業を行う。

山根副会長：『五十年史』の原稿締切が 4 月末であるので、よろしく願います。

小林毅理事：がんリハの診療報酬算定要件の件で質問があったが、厚労省に確認中である。

II. 審議事項

1. 平成 26 年度決算書および監査について（辻・本郷税理士法人市川氏、古川監事）当年度の全資産は 8 億 8,635 万 7,511 円である。経常収益の予算執行率は 103.84%、経常費用の執行率は 95.79%で、問題はない。監事より適正に執行されているとの報告がなされた。

→承認

2. 会員の入退会について（荻原事務局長）会費未納による会員資格喪失後の再度入会希望者 27 名、すべて精算を終えている。死亡退会者 2 名。 →承認

3. 作業療法白書 2015 アンケートについて（荻原事務局長）アンケート案が修正され、再度提案された。追加の質問や意見があれば返信する。前回からのインターネット回答を推進する。 →承認

4. 学術誌『作業療法』第 33 巻の論文表彰について（小林正学術部長）研究論文 32 編、実践報告 13 編を審査し、最優秀論文賞 1 編、奨励賞 3 編を推薦した。 →承認

5. 教育関連審査結果について

1) 平成 27 年度第 1 回認定作業療法士の認定審査結果（陣内教育部長）資格認定申請 9 名、

更新申請 34 名、厳正に審査を行った結果 43 名全員を可と判断した。 →承認

2) 平成 27 年度第 1 回臨床実習指導者および指導施設の認定審査結果（陣内教育部長）臨床実習指導者研修終了認定申請は 21 件、指導施設認定申請は 4 件、すべて要件を満たしているので可と判定した。 →承認

6. チーム医療推進協議会の法人化について（会長、小林毅理事）全領域の団体が参加していない推進協議会について問題が指摘されたが、定款は今後改めて検討することで法人化に賛成することが提案された。 →承認

7. 「脳卒中对策基本法案に関する今後の対応策』に対する協会対応について（中村会長）国会提出が見送られた「脳卒中对策基本法案」に代わり「循環器病対策基本法案」を次善の対応策とする案が脳卒中对策立法化推進協議会より提案された。 →承認

8. 平成 27 年度第 1 回常務理事会の議題について（中村会長）第 1 回常務理事会の議題を①作業療法の定義、②指定規則とし、この 2 件について検討する。

以上